

5月26日「県民防災の日」

八峰町防災訓練

～忘れるな！「日本海中部地震」～

毎年5月26日は「県民防災の日」です。八峰町では24年前の「日本海中部地震」で17名の方が犠牲となっております。万が一の災害に備えるため、防災訓練が小手萩地区と海光苑の2カ所で行われました。

海光苑では早朝6時から入所者の避難訓練や消火器の使い方、放水訓練を行いました。小手萩地区では6時30分から「火事だ！」の合図で訓練が開始され、



昭和58年国道101号（目名湯）

防災無線の時報で流れている曲は、

防災無線では、午前7時と正午、午後5時の1日3回時報として3曲のメロディーを放送しています。そのうち、午前7時と正午に流れている曲は、旧八森町が平成13年から開催した白神の詩コンテストで制作した「白神山地イメージソング」です。

第1回大賞作品

悠久の都～My Home Town～

作詞 森田文人 作曲 松尾一彦

一、耳を 寸ませば 聴こえる
森の声 胸に
涙も そして風になる
まよいながら 生きていく
僕らを
流れる雲よ 静かな雨よ
遠く そっと
守って・・・

二、人間は なくして はじめて
大切に 思う
僕らも いつか星になる
何を その時 残そう
生命の森よ 気高き山地よ
それでも 愛を 信じて
生きたい
流れる雲よ 静かな雨よ
深く そっと
包んで・・・



第6回悠久の森「白神」フェスティバルの様子

白神山地のイメージソングって？

旧八森町では、平成13年から、たくさんの生命を育み、人々に癒しを与える白神の自然を守って、というコンセプトに、全国から歌詞を募集し、本町出身の音楽プロデューサー松尾一彦さん（元オフコース）が作曲して白神山地イメージソングを毎年制作してきました。完成した曲は全6曲で、どの作品も白神山地の雄大さやそこに住む動物たちの様子、自然と共存しているなどのメッセージが詰まった曲に

住民によるバケツリレーでの初期消火や消防団による放水など、本番さながらの消火活動が行われました。



火事だー！



バケツリレーで初期消火



迅速なホースさばきで放水開始！



火元にめがけて確実に！

なっています。時報で流れる曲を聴きながら、八峰町は大自然に囲まれ、恵まれた環境で暮らしていることを思い起こしてみませんか。

特に、朝7時に流れている、第1回大賞曲の「悠久の都～My Home Town」は「悠久の都」と題名をかえて「NHKみんなのうた」に採用されました。

また、第1回から第5回までの大賞曲を収録したCD（1枚1,500円）を町内の観光施設や役場庁舎で販売しています。

- 第1回大賞作品 悠久の都～My Home Town～（朝の時報）
- 第2回大賞作品 僕はクマゲラ
- 第3回大賞作品 命の駅（正午の時報）
- 第4回大賞作品 森の歌がきこえない
- 第5回大賞作品 白神ばやし
- 第6回大賞作品 森には少年が住んでいる・・・